

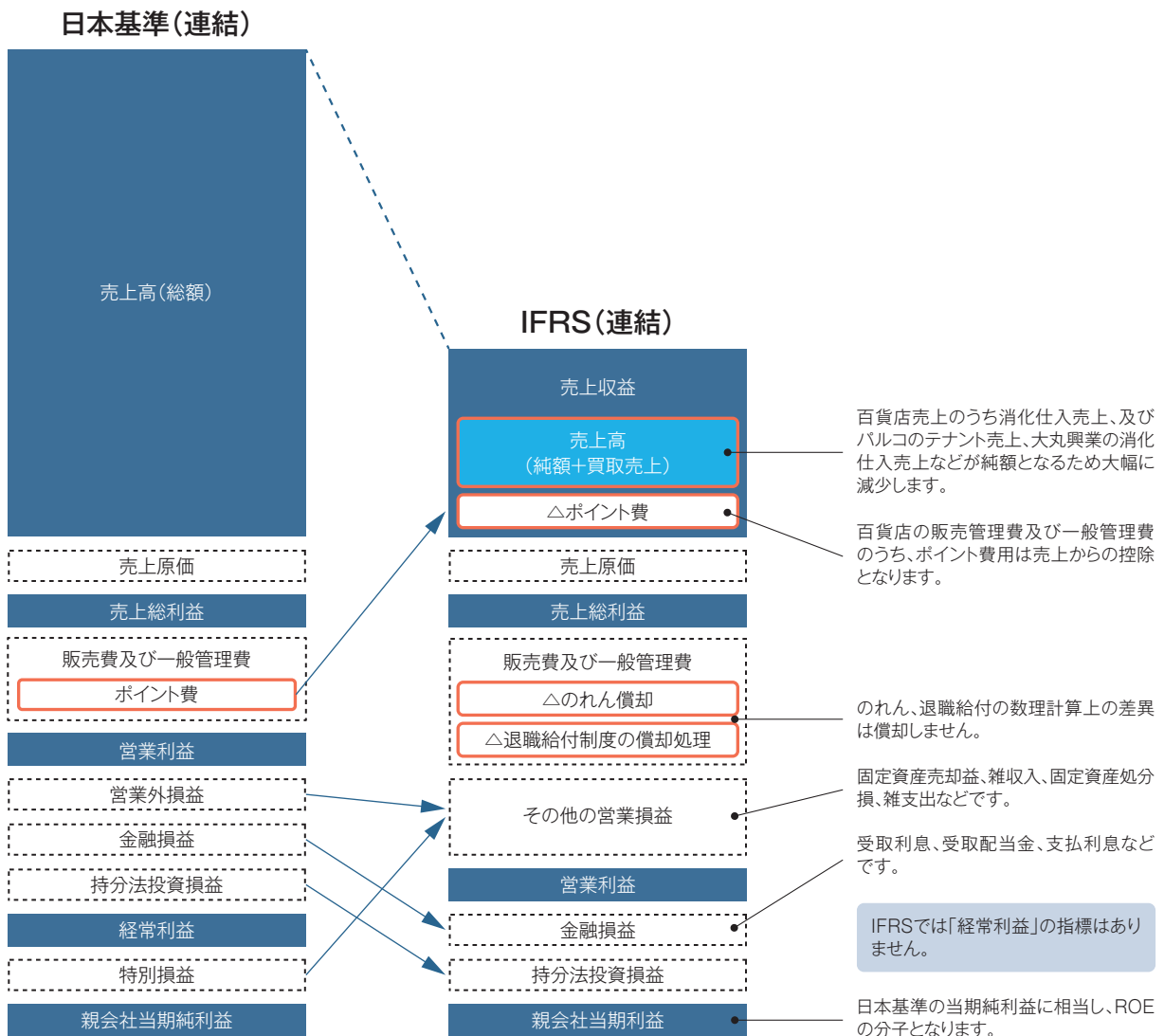


# IFRS (国際会計基準) 適用に伴う 主な変更点

当社は、適正な資産評価に基づいた効率経営の実践や、当期利益重視の経営管理、財務情報の国際的な比較可能性向上による国内外の投資家に対するアカウンタビリティ強化を目的として、2017年3月から、国際会計基準 (IFRS) を適用することといたしました。

2017年度をスタートとする中期経営計画の経営数値目標を含め、今後当社グループが発表する業績予想及び実績数値などにつきましては、IFRSベースで開示いたします。

## 日本基準とIFRSの比較



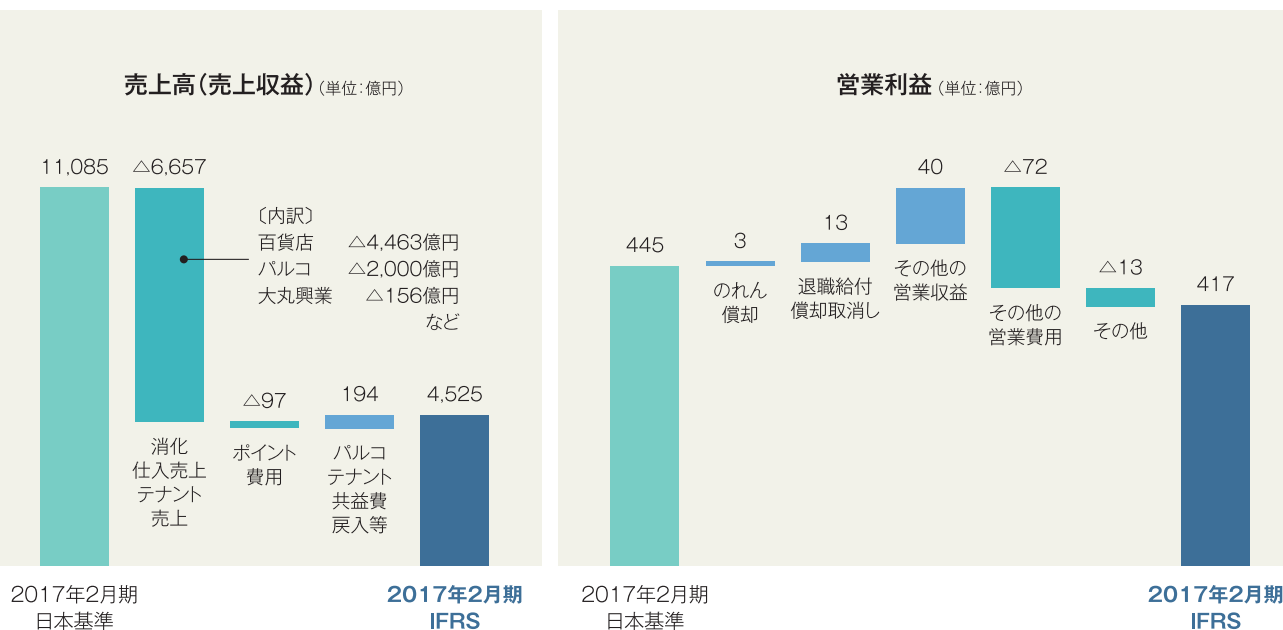
### 参考指標

なお、連結では従来との比較可能性継続の観点から、参考指標として下記を設定します。

<b>総額売上</b>	IFRS売上収益のうち、主に百貨店事業の消化仕入取引を総額に、またパルコ事業の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出します。
<b>事業利益</b>	(IFRS営業利益) - (IFRSその他の営業収益等) + (IFRSその他の営業費用等) で算出します。

## 連結P/L

- 売上高は消化仕入やテナント売上の純額表示、ポイント費控除により、6割程度減少します。
- 営業利益は営業外損益、特別損益(固定資産処分損など)の組替え等により減少します。



## 連結B/S

- 土地等の資産簿価をIFRS移行時の時価で見直したことにより、資産(土地、借地権他)、資本(利益剰余金)が減少します。また、負債は税効果による影響で減少します。

(単位:億円)

